



114
A4743
38

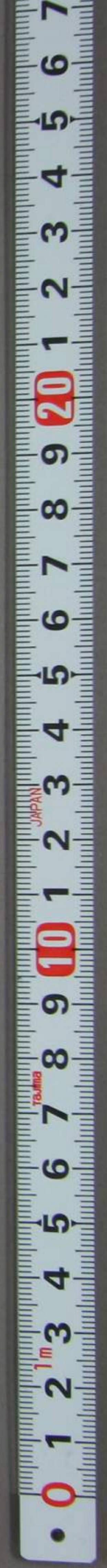


唐之通志卷之二

之卷之四
治清分二年分

一金百散卷之四
卷之四

雅子稿
方長屋
得屋棟棟
雨無
方中
子下
台下
清深



三十一日

所至鋪内東長より棟より根棟通、谷通、風切
を至通、雨耐斗通、ケラハ通、大窓廻り通、用
戸の互右より根棟喰、三返迄、序より平積

貳棟内、業長家部

四返棟

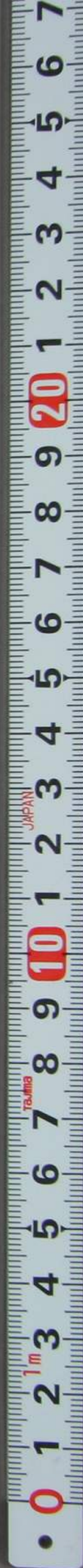
拾八尺

三返棟

拾四尺三尺

兩耐斗

四拾三尺



谷

八寸二分

風切丸

拾貳寸四分

刻ケラバ

拾九寸半

舟通の程キ長ふ壹棟ノ部

由返棟

拾壹寸

三返棟

拾四寸三分

谷

九寸四分

風切丸尾

九寸二分

刻ケラバ

八寸

山棟一總長尺百方おろし

此ノ長ノ在法吸洞也

二合金百貳拾七圓七拾貳文

灰砂ノ壹斗四分三厘

金百貳拾七圓七拾貳文

南又總百方拾九寸

金百貳拾七圓七拾貳文

上玉草百方拾九寸

金百貳拾七圓七拾貳文

漆ノ灰ノ九升五合

内尺

此ノ灰ノ外ノ名

此ノ灰ノ外ノ名

金百三圓七拾貳文

此ノ灰ノ外ノ名

全一圓すねまう

上角又法
以ねにふし四目
五斗

全ねに内七ねまう

上玉三斗
以ねにふし四目
五斗

全ねふふねまう

以ねに
以ねにふし三斗
五斗

全七田七ねまう

以ねに
以ねにふし三斗
五斗

全四ねまう

以ねに
以ねにふし三斗
五斗

全九田七ねまう

以ねに
以ねにふし三斗
五斗

全三ね七田七ねまう

以ねに
以ねにふし三斗
五斗

全ね田七ねまう

以ねに
以ねにふし三斗
五斗

お口百すねまう

以ねに
以ねにふし三斗
五斗

引一百すねり

南に涼風すうははしり力更積

但之言ふは南に涼風調々

全ねね内七ねまう

上角又
以ねに
以ねにふし三斗
五斗

内尺

全すねまう

上角又
以ねに
以ねにふし三斗
五斗

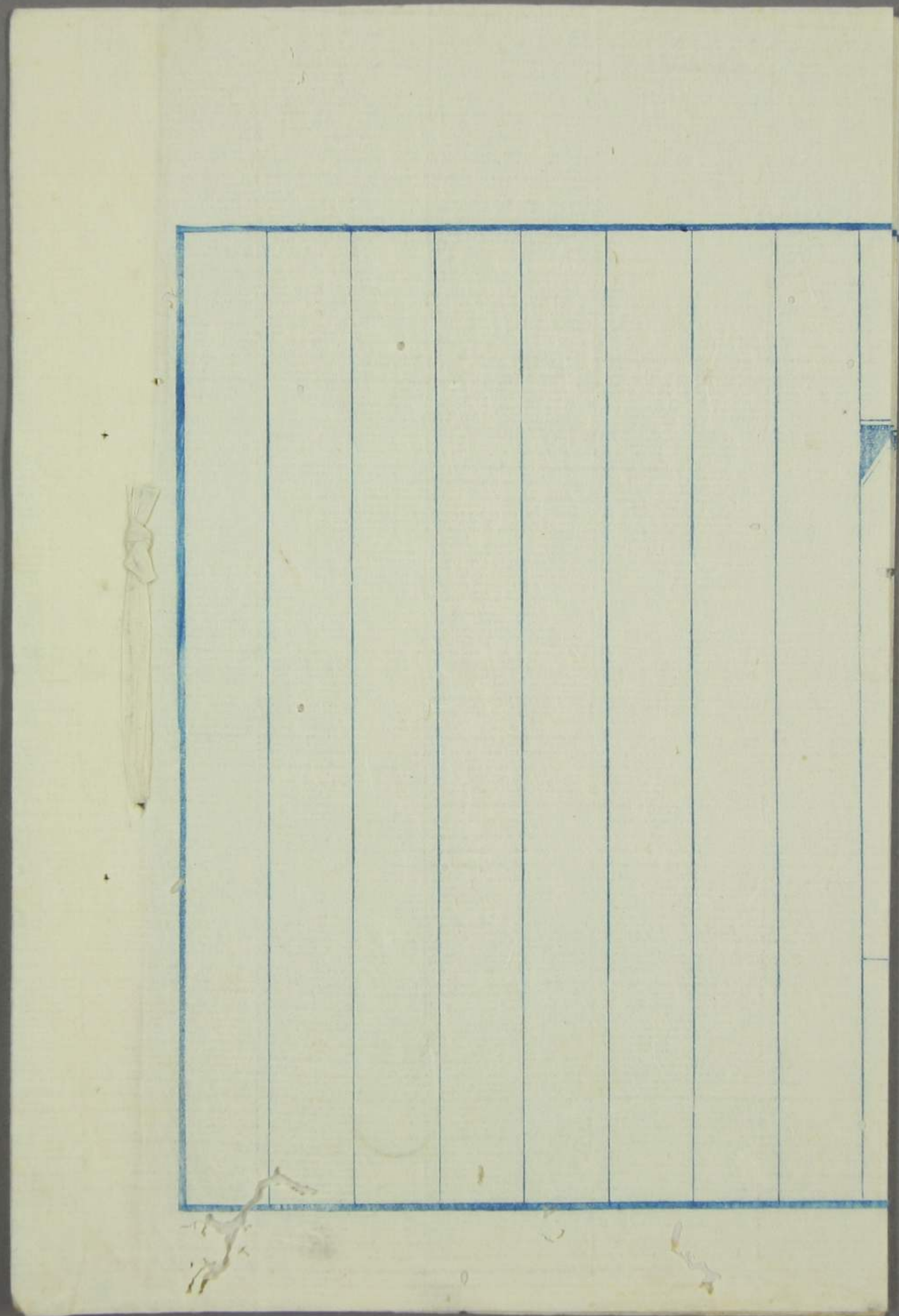
今之四方は...
 今之四方は...
 今之四方は...
 今之四方は...
 今之四方は...

百之過了...

十三年第十月

塩練作送





稚橋御門ノ火古長ノ筑棟ノ根棟ノ兩壁ノ九ノ樓ノ材
言ノ彦ノ傳ノ九ノ綱ノ云

一 總同敷百六拾六間

内譯

貳拾九間

三拾五間

拾五間

四拾棟

三拾棟

拾

馬

交角ノ當

卷ノ三ノ三ノ八



凡右長氣棟包根棟兩壁以中樓時

百六拾六間

內譯

貳拾九間

三拾五間

拾五間

四拾棟

三拾棟

拾

百六拾七間

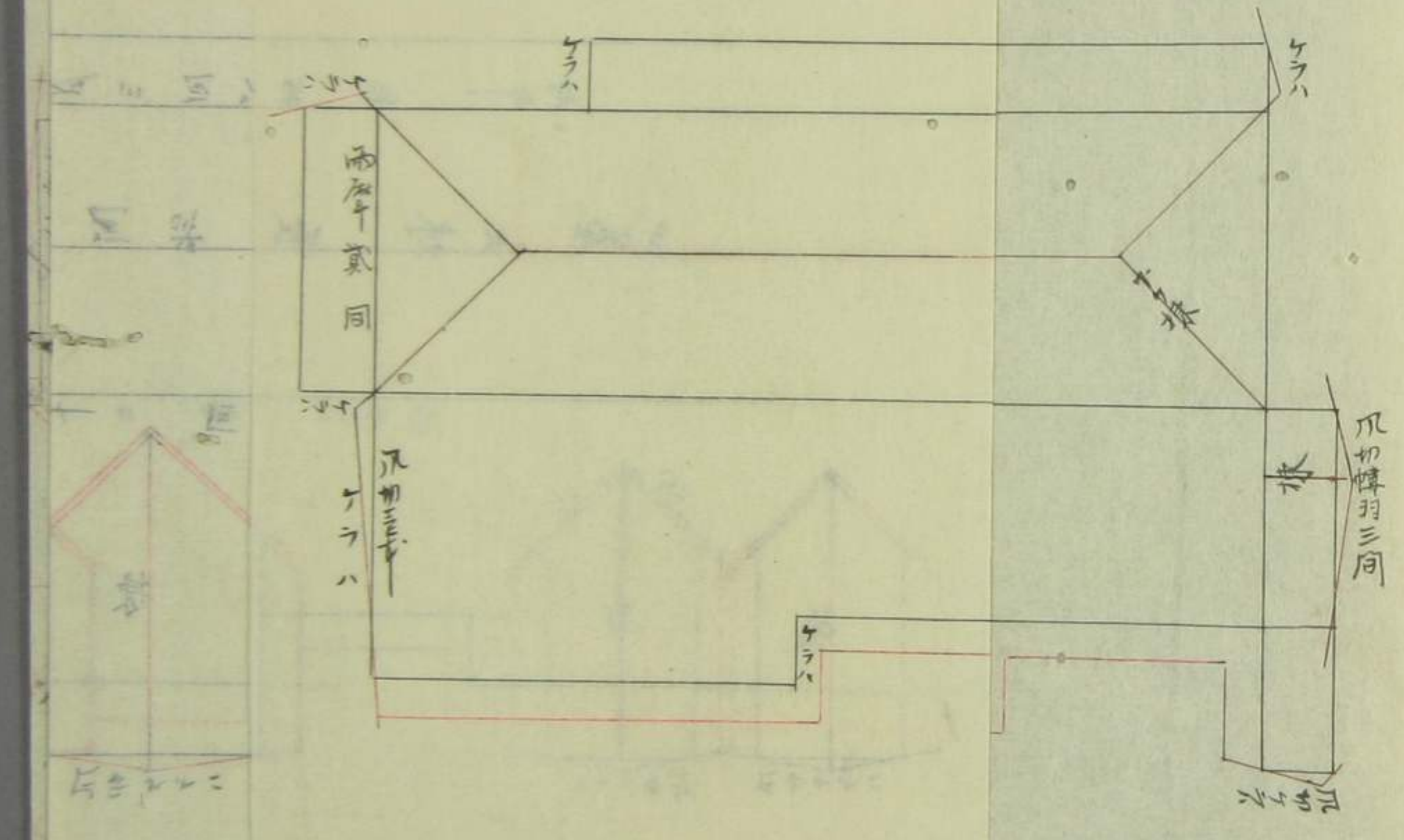
早至...

...

...

...

御座
 同
 三
 三



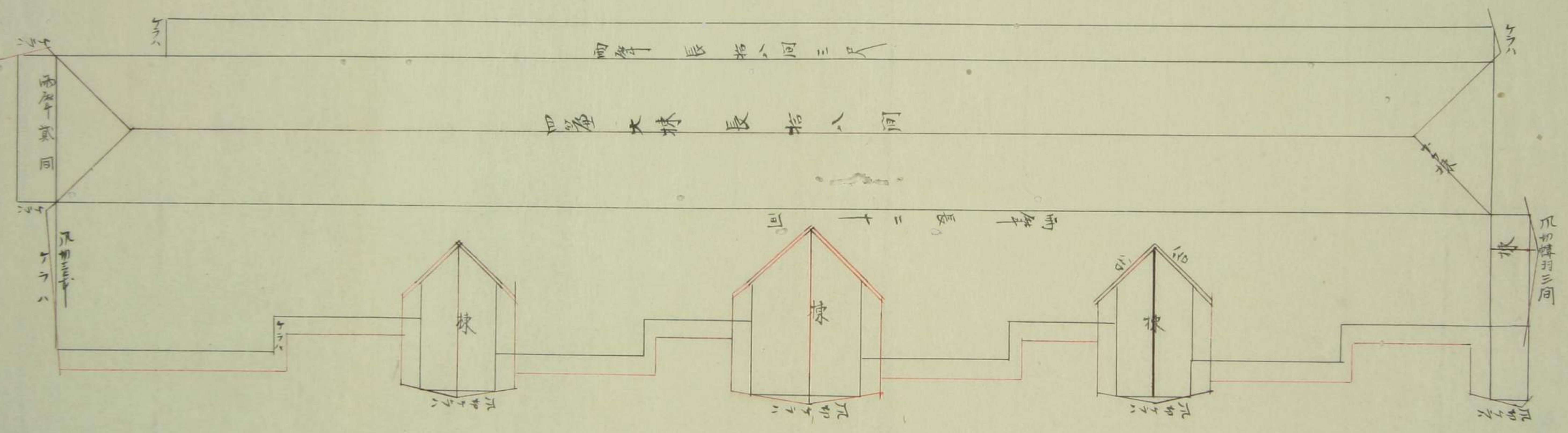
右に別紙圖、如クニテ尺調也

四指同五分
 指九同
 實物七寸五分

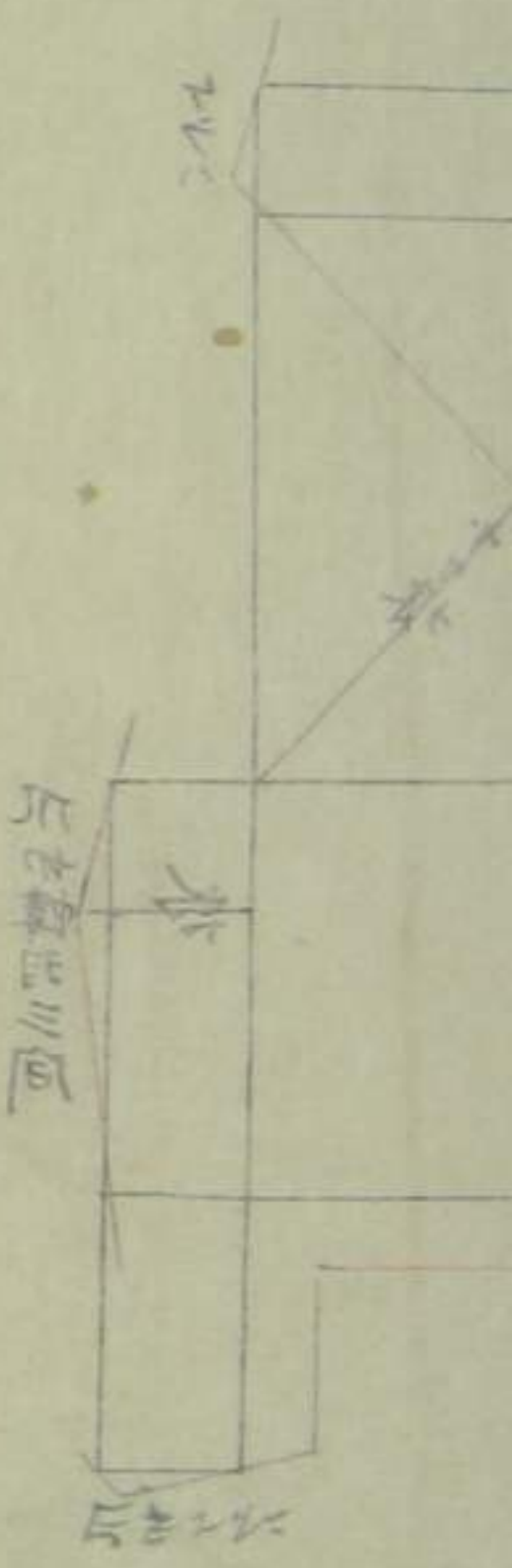
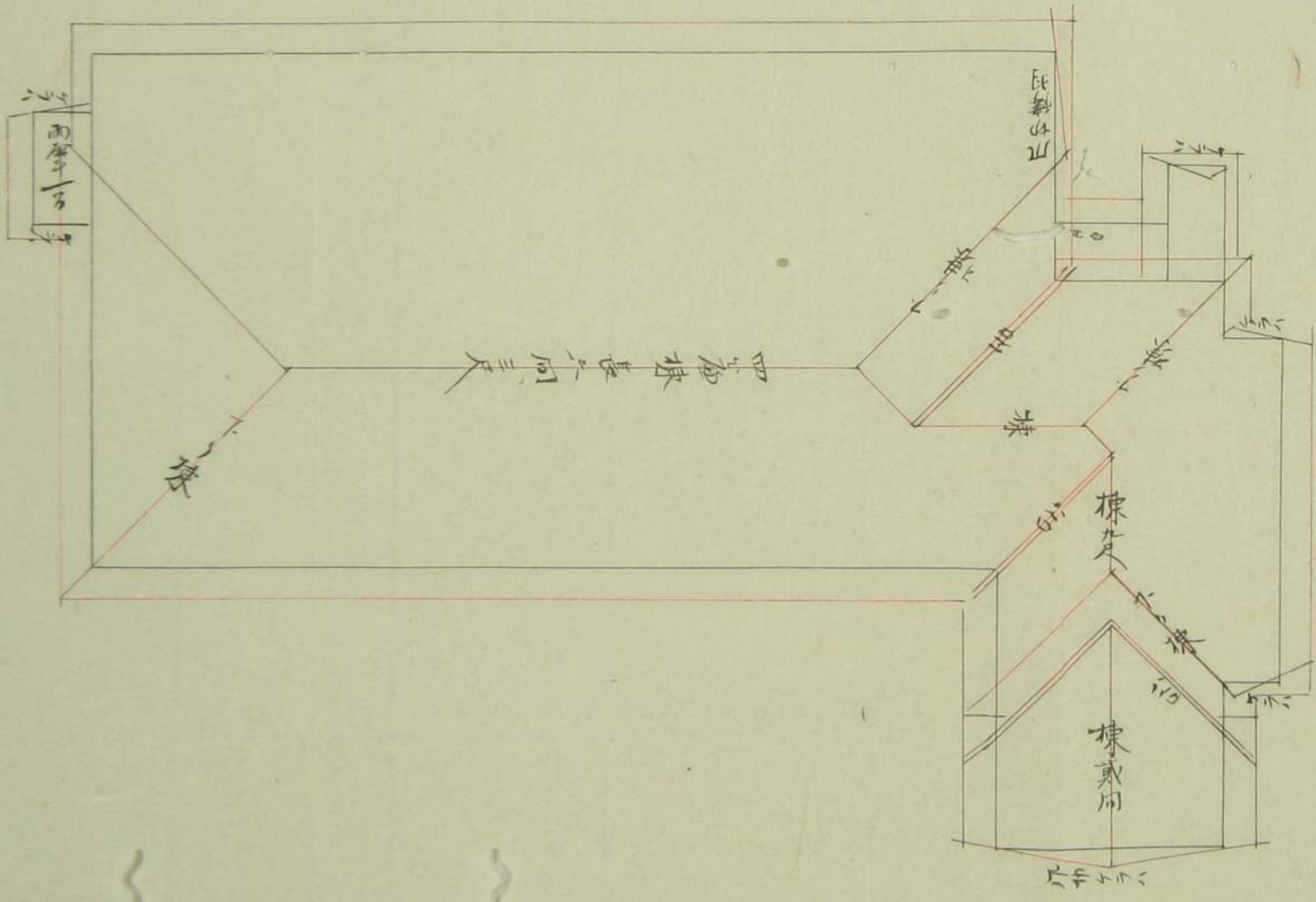
兩座
 凡切在伏
 樓羽刻

東 三号
御長家
三棟

折行敷指同
梁同敷同
表年即之敷同
裏年即之敷同
妻口以 三尺
角家便所
四ヶ所
附之
九尺
三尺
三弄



雉子橋御門
南側長家
吉棟分



物定書

一金百兩奉書同務家少廣

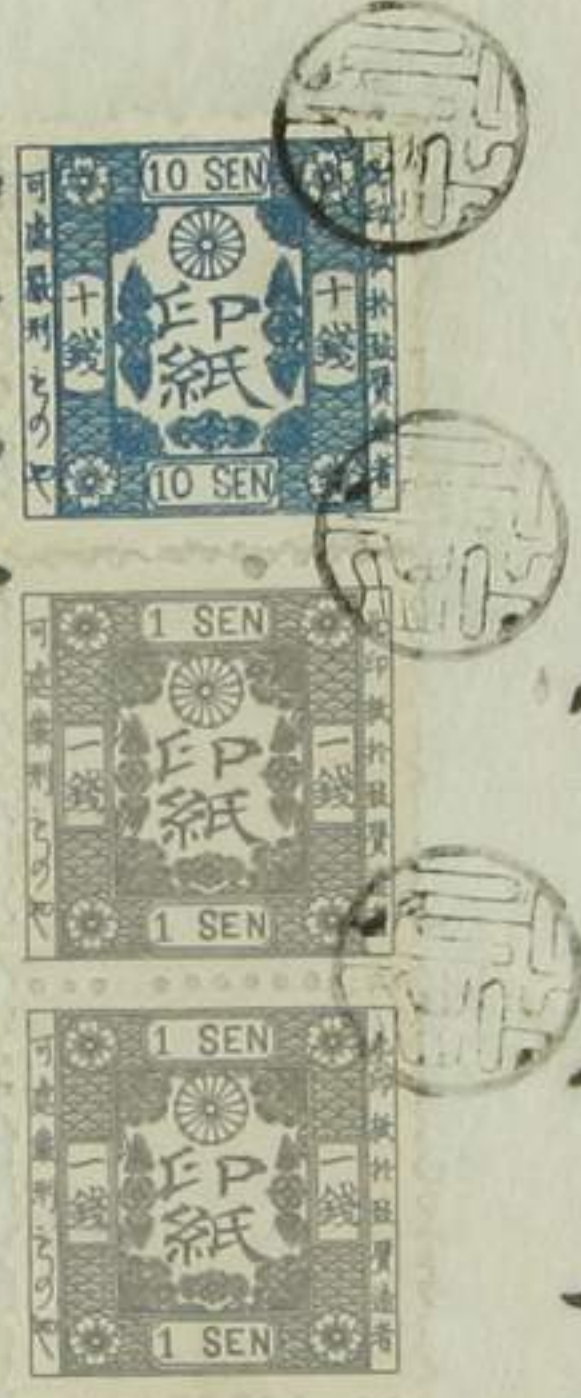
右奉書奉信、小由長包紙律信律奉書奉書

前記之奉書を以て或法取新落札取家以付之
因面仕様あり通念入出来り仕在依之左之
々條之通法く物定仕在也

一東十八日より著多し雨天相除日教キ十五日百

々奉書連皆出来り仕在奉書

一皆出来物定日限より至り落来不致時を其



惣目より後取之日迄違物と定めて一日付
諸員金多分下し重額を毎日上納
可仕事)

但市人之納金、重支之時ハ保証人より速
上納可仕事)

一 仕様書おより圓面子控り粗造或ハ不堅固な
候り以多し一其時ハ何ヶ度も指差之通
取直し一市中尤手出しより生ずる控費ハ
一切自弁 白論ニ申上り)

一 廣摺又ハ控摺摺おより節ハ取初之仕様書
おより圓面ハ掛ヶ紙おより仕様書に
掛少摺印之上形、おありても御印仕事
ハ費重之増減ハ細意より申上り

此摺印より下ハ取者之手控お不仕分ハ法而
入費重出下ヶ不お願し)

一 諸員申市人逃亡其他取除お生し
保証人引更皆出来可仕事保証人亦取除
お生し一此免相取印ハ木札、他此
違物、付多掛所ハ持込太多物ハ其儘子
お納免君代、金之儀ハ出来形ハ歩通之
重額出下ヶ後、一市中申上り)

一 皆出来物之日限おとも仕事抄、以
し、物定日限おとも皆出来、以、法
之、時、諸員、此免、取、付、とも、申、議
申上り、教、以、物、多、其、申、上、り、以、取、分、納、而


前條之通り
一 後戻り金出渡し儀は連年五分通り之時と
八分通り之時を有及之は為年形之
八分通り之時は同渡し未成残金之
等由來此見分濟之上出渡し可
と下たり

但此年形分通り之儀ハ出掛りニお為事
由見極免可下り

右之條之確し物定仕立上事中人ハ論
保証人ニお為事決り違約上仕立依之
為後際連印物定書差上事是也


日本橋區

小傳上町 貳番地

請負人 瑞練兆藏 


神田區

西松下町 九番地

明治三年十月十七日 保証人 吉川熊治郎 

同區

紺屋町 九番地

保証人 富山竹治郎 

大藏省用度課
管帳掛以中